

(平成20年度実施事業)

事業評価表

事業CD. 0104103 - 03000

京都府南丹市
作成日: 平成21年05月12日

事業名	環境衛生事業	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体	市民部 環境課
事業区分	事業分類: (B)ソフト事業 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	政策体系CD: 214	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	担当: 吉田
		関連法令・条例等	南丹市美しいまちづくり条例、南丹市資源ごみ集団回収事業報奨金交付要綱 他	

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
ごみの排出量を抑制するための事業。
環境への負担の少ない暮らしやエネルギーの有効活用を実践させるための事業。
- ②事業を実施する必要性
家庭から排出されるごみを正しく分別することにより、ごみの減量化や資源再利用を着実に促進するため、本事業は必要不可欠である。
また、地球温暖化防止に繋がる活動を積極的に実施するため、様々な地域環境保全活動を通じて、住み良い環境づくりに取り組む必要がある。
- ③未実施事項
概ね計画どおり実行できた。
- ④他にも効果が見込める施策があるか
・第2章2 資源が循環するまちをつくる
＝省資源・リサイクル、環境にやさしい暮らし、エネルギーの有効活用に資することができる。

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	18,565	17,587	11,760	9,191	9,191
うち一般職、嘱託職、臨時職給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	1,630	1,148	1,670	1,048
	国・府支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	16,935	16,439	10,090	8,143
職員等従事人員	人/年	—	—	1.85		
人件費	千円	—	—	13,666		
事業費総額	千円	—	—	25,426		

【主な支出の内訳】

リサイクル業務等委託	1,224千円 (委託料)
環境美化推進業務等委託	4,425千円 (委託料等)
一般河川水質検査の実施	275千円 (役務費)
資源ごみ集団回収実施団体への補助	1,407千円 (補助金)
生ごみ処理機等購入・太陽発電システム設置補助等	2,451千円 (補助金)

【近隣市町村の取り組み状況】

亀岡市、京丹波町においても、生ごみ処理容器・生ごみ処理機の購入補助金ならびに資源ごみ集団回収報奨金制度を行われている。

【前年度の評価を受けて改善した点等】

南丹市の広報紙を通じて、家庭でできる省エネや家庭でできる身近な地球温暖化対策などを紹介し、また、出前講座を通じて、南丹市のごみの現状や地球温暖化に関して説明することにより、地球温暖化防止に対する意識の高揚を図るための啓発を行った。
環境衛生事業には、様々な事業が混在しており評価が難しかったため、平成21年度予算に於いて事業区分の見直しを行った。

【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
経費節減や事業効果を考慮し、補助事業及び委託事業の廃止・見直しを図った。
- ②当該事業のアピール事項
各地区から選出された環境美化推進委員の協力を得ながら、ごみの適正処理や減量化に努めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
ごみ減量、リサイクル、環境美化など、多様な目的の業務が本事業に混在しているため評価が難しい。21年度から事業体系を見直すこととする。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	214	事業名	環境衛生事業		
事業CD	104103-03000	細事業名			
所管部局	市民部	所管課	環境課	担当	吉田 恵

104103-03000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
環境美化推進	<p>●環境美化推進委員会 各区から選出された環境美化推進委員の方に委嘱状を交付した。また、「ごみの出し方・分け方」の講習を行った。 *環境美化推進委員の具体的な活動*</p> <p>ごみステーションでの作業(各地区でのごみステーションの管理、ごみの分別の確認、ごみの出し方チェックやごみの出し方の指導) 環境関係の啓発活動(地域で行う美化活動に対する啓発活動)</p>	日吉4月15日(火)・美山4月18日(金)・園部4月21日(月)・八木4月24日(木) 委嘱期間:4月1日から3月31日	環境美化推進委員:各区1名選出 委託料:2,376,000円
	<p>●エコパックの配布方法変更に向けたアンケート調査 園部地域ならびに八木地域の環境美化推進委員の方にエコパックの保管場所の有無ならびにエコパックを地域で管理・利用可能かどうかという内容のアンケート調査を実施した。</p>	5月	エコパックの管理の方向性の基礎資料
	<p>●リターナブルびん回収に向けたアンケート調査 八木地域・日吉地域ならびに美山八木地域の環境美化推進委員の方にリターナブルびんの分別ならびに保管可能場所の有無等を確認する内容のアンケート調査を実施した。</p>	5月	リターナブルびん回収の方向性の基礎資料
リサイクル業務	<p>●リサイクル業務等委託 財団法人南丹市福祉シルバー人材センターに対し、エコパックの配布・回収、監視パトロール、不法投棄物の分別等を委託し、環境保全を行った。</p>	年間	事業費:1,224,300円
	<p>●リサイクルの日 毎月8日をリサイクルの日とし、資源の館にて資源化ごみの収集を行った。</p>	毎月8日	ダンボール7,080kg 新聞13,140kg 雑誌26,150kg 古着7,420kg
補助事業	<p>●資源ごみ集団回収事業補助 ごみの減量かと資源の有効利用を図り、また廃棄物処理に対する意識の高揚を図るため、報奨金を交付した。</p>	年間	交付件数:17件、交付額:1,800,000円
	<p>●太陽光発電および太陽高度利用システム設置事業補助 市民のクリーンエネルギー利用を支援するため、住宅用太陽光発電および太陽高度利用システムを設置したものに、補助金を交付した。</p>	申請:4月から5月 補助金交付:年間	事業費908,326円 住宅用太陽光発電システム設置事業補助金 交付件数:10件、交付額:820,000円 太陽熱高度利用システム設置事業補助金 交付件数:4件、交付額:272,000円
	<p>●生ごみ処理容器および生ごみ堆肥化処理機購入補助 家庭から排出される生ごみの減量化の促進等を図るため、生ごみ処理容器および生ごみ堆肥化処理機を購入した市民に対し、補助金を交付した。</p>	年間	事業費1,116,028円 生ごみ堆肥化処理機購入補助(電気式) 交付件数:47件、交付額:996,763円 生ごみ処理器購入補助(コンポスト) 交付件数:56件、交付額:119,265円

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
	●生ごみ収集庫設置事業補助 生ごみ排出のステーション化と環境保全のため、生ごみ収集庫を設置した地域に対し、補助金を交付した。	年間	交付件数:8件、交付額:427,000円
	●リサイクルの日 毎月8日をリサイクルの日とし、資源の館にて資源化ごみの収集を行った。	毎月8日	ダンボール7,080kg 新聞13,140kg 雑誌26,150kg 古着7,420kg
河川 水質 検査	●河川水質検査 河川の水質を監視するため、水質検査を実施した。	12月1日(月)・2月18日 (水)	事業費274,890円 検査項目:生活環境の保全に関する項目 検査実施箇所数:22箇所
H P	●南丹市HPの更新 水質検査結果掲載 くらしのあんない版のくらし・環境・ごみの項において、地区別ごみ収集日程などを掲載	年間	
広 報	●広報なんたんの掲載 環・境・市・民というコーナーにおいて、家庭でできる省エネや地球温暖化等を掲載し、意識の高揚を図った。	年間	省エネや地球温暖化対策などの啓発
出 前 講 座	●出前講座の実施 ごみの出し方講座や、南丹市のごみの現状とごみの減量化等のテーマで講座を開催した。	5月26日 6月23日 11月18日	実施団体・グループおよび参加者数 安掛婦人部・生活部 22名 知井振興会 26名 和泉区人権教養学習会 27名